

資料

令和3年度 沖縄県産業廃棄物実態調査 フォローアップ業務報告書

目次

資料1. 多量排出事業者による産業廃棄物処理計画実施状況報告の集計結果	資-1
資料2. 農業系廃棄物の集計結果	資-3
資料3. 発生及び処理・処分状況に関する統計表（動物のふん尿除く）	資-4
資料4. 産業廃棄物に関する排出事業者及び処理業者への調査	資-11
1. 排出事業者	資-11
2. 処理業者	資-24

資料 1. 多量排出事業者による産業廃棄物処理計画 実施状況報告の集計結果

令和 3 年度（2021 年度）に提出された令和 2 年度（2020 年度）分の多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書は 84 件（産業廃棄物：70 件、特別管理産業廃棄物：15 件[うち産業廃棄物との重複 1 件]）で、報告された廃棄物の種類毎に排出量及び処理量を集計した。

1. 産業廃棄物処理計画実施状況報告（令和 2 年度実績）の集計結果

(単位:トン)

区 分 種 類	排出量													
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
燃え殻	4,519	74	4,427	13		1	12			5		1		
汚泥	153,195	12,379	4,398	94,059		7,786	80,563	6,288	540	48,729		44,002		8
廃油	74									74	1	33		15
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	3,320									3,320	131	1,306	20	97
紙くず	693									693	77	499		
木くず	8,022									8,022	109	7,425		66
繊維くず	90									90		65		
動植物性残さ	40,776	30,909		3,542	2,416	983	2,559	7,065		243	145	238		
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず	2,521									2,521	285	2,327		
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	74,352	13,240		3,002		1,872		3,002		58,110	695	56,575		
鋳さい	19,094			19,081		19,081		19,081		13				
がれき類	88,425			1,257				1,257		87,168	1,038	79,801		
ばいじん	144,291		10,795					975		132,521		132,307		
動物のふん尿														
動物の死体														
その他廃棄物	3,661			411		411		411		3,250	1,055	700		
合 計	543,033	56,602	19,620	121,365	2,416	30,134	83,134	38,079	540	344,759	3,537	325,279	20	185

注) 表中の数値は四捨五入の関係で合計と個々の計が一致しない場合がある。

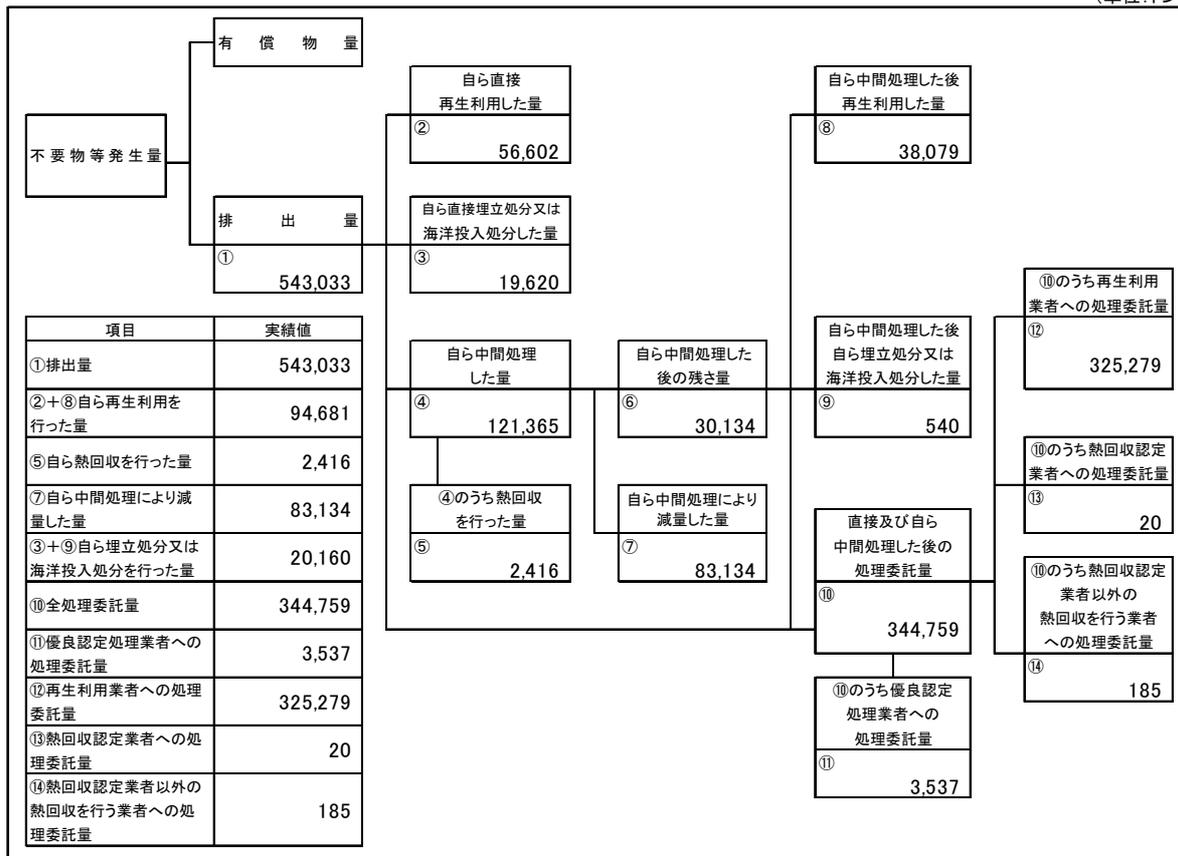
2. 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告（令和 2 年度実績）の集計結果

(単位:トン)

区 分 種 類	排出量													
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
廃石綿等														
引火性廃油	27									27	2	14		1
特管ばいじん	4,543									4,543	4,543	4,543		
感染性廃棄物	1,340			79		79				1,340	322			305
廃酸・廃アルカリ	254									254	244			
特管廃油	2									2	1			
特管燃え殻														
特管汚泥	2,207			2,202		670	1,532			675	5	670		
特管鋳さい														
廃PCBなど	4									4		4		
合 計	8,375			2,281		749	1,532			6,843	5,116	5,231		306

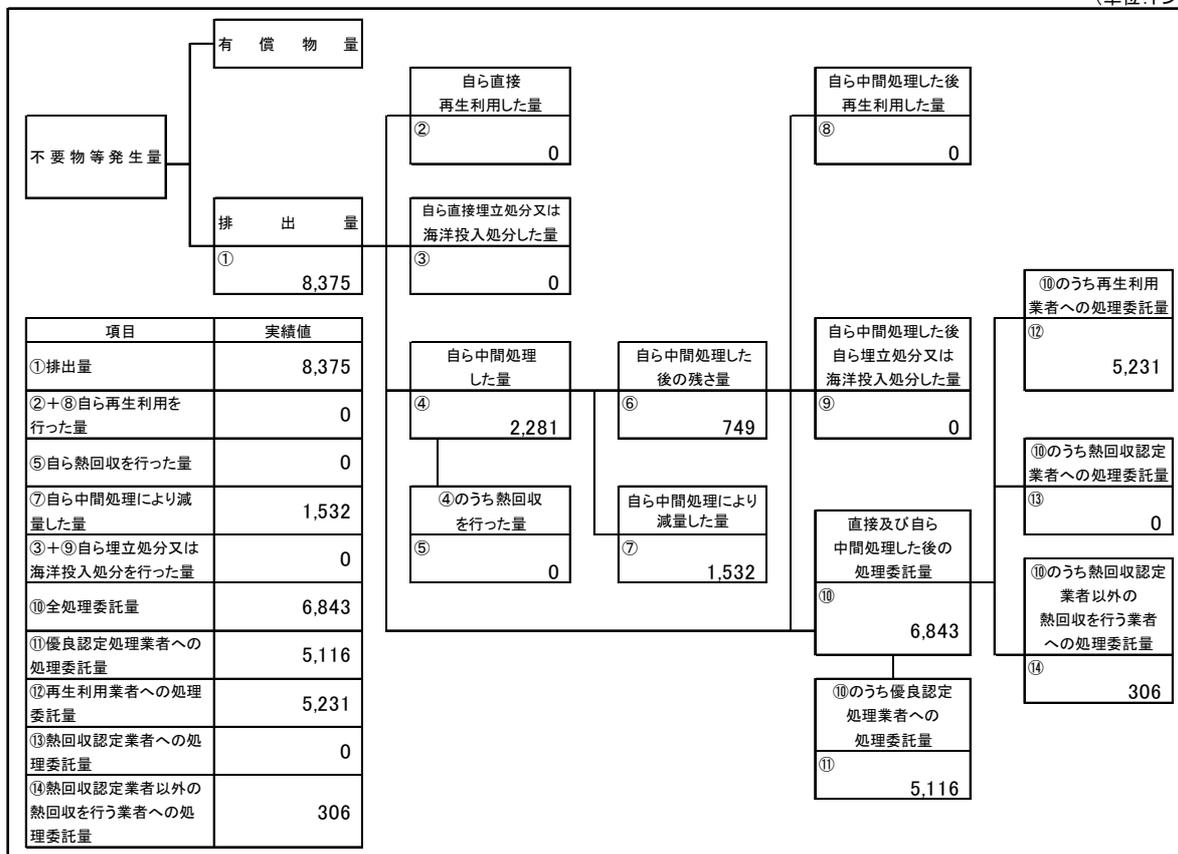
注) 表中の数値は四捨五入の関係で合計と個々の計が一致しない場合がある。

(単位:トン)



産業廃棄物の処理フロー(令和2年度(2020年度)実績)

(単位:トン)



特別管理産業廃棄物の処理フロー(令和2年度(2020年度)実績)

資料2. 農業系廃棄物の集計結果

1. 動物のふん尿（令和2年度（2020年度））

項目	区分	家畜飼養頭羽数 (頭、羽)	ふん尿量 (トン/年)
肉	用牛	74,257	694,193
乳	用牛	4,231	64,657
	豚	212,359	500,710
採卵	鶏	1,375,027	60,667
	ブイラ	459,770	21,816
合	計	2,125,644	1,342,043

出典：「家畜・家きん等の飼養状況調査結果」（令和2年12月、沖縄県農林水産部畜産課）

2. 動物の死体（令和2年度（2020年度））

項目	区分	家畜飼養頭数 (頭)	死体重量 (トン/年)
肉	用牛	74,257	816
乳	用牛	4,231	224
	豚	212,359	798
合	計	290,847	1,838

出典：「家畜・家きん等の飼養状況調査結果」（令和2年12月、沖縄県農林水産部畜産課）

出典：「NOSAI 沖縄 沖縄県農業共済組合ホームページ/事業報告書 令和2年度」（NOSAI 沖縄 沖縄県農業共済組合、令和4年3月30日アクセス）

3. 農業系廃プラスチック類（令和2年度（2020年度）） （単位：トン/年）

区分	埋立	焼却	再生	その他	合計	
合	計	372.1	111.3	477.4	138.0	1,098.9

出典：「農業用廃プラスチックに関する調査」（沖縄県農業用廃プラスチック協議会）

資料3. 発生及び処理・処分状況に関する統計表（動物のふん尿除く）

1. 種類別の発生及び処理・処分状況（令和2年度（2020年度）：種類別変換）

（単位：トン/年）

種類	区分	発生量	有償物量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他量 (保管量)	資源化量
合計		2,046,194	154,706	1,891,488	967,090	859,349	64,382	668	1,121,796
燃え殻		4,537	74	4,463	1,791	▲ 3,219	5,891		1,865
汚泥		887,657	4,804	882,853	88,229	788,278	6,338	9	93,032
廃プラスチック類		26,740	436	26,304	11,391	2,136	12,627	151	11,827
木くず		28,443	109	28,334	24,972	2,351	1,009	1	25,081
動植物性残さ		389,305	127,517	261,787	215,313	46,139	335		342,830
金属くず		13,957	3,819	10,138	8,492	294	1,351	1	12,311
ガラス・コンクリート・陶磁器くず		107,684	3,619	104,066	98,090	1,628	3,851	497	101,709
鉱さい		22,440	128	22,312	22,297		15		22,425
がれき類		370,628	9,155	361,473	342,980	3,149	15,344		352,135
ばいじん		144,437	1,117	143,320	132,307		11,014		133,424
上記以外の種類		50,365	3,928	46,437	21,228	18,593	6,606	9	25,156

注)本表は、中間処理によって変化した処理後の種類(種類別変換の例:木くず→焼却→燃え殻)で集計しているため、減量化量のうち増量(マイナス表記)となるものがある。

2. 種類別の発生及び処理・処分状況（令和2年度（2020年度）：種類別無変換）

（単位：トン/年）

種類	区分	発生量	有償物量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他量 (保管量)	資源化量
合計		2,046,194	154,706	1,891,488	967,090	859,349	64,382	668	1,121,796
燃え殻		4,537	74	4,463	8	12	4,443		82
汚泥		887,657	4,804	882,853	88,684	787,592	6,568	9	93,488
廃プラスチック類		26,740	436	26,304	11,432	1,845	12,876	151	11,868
木くず		28,443	109	28,334	25,043	2,142	1,148	1	25,152
動植物性残さ		389,305	127,517	261,787	215,314	46,138	336		342,831
金属くず		13,957	3,819	10,138	8,492	294	1,351	1	12,311
ガラス・コンクリート・陶磁器くず		107,684	3,619	104,066	98,090	1,628	3,851	497	101,709
鉱さい		22,440	128	22,312	22,297		15		22,425
がれき類		370,628	9,155	361,473	342,980	3,149	15,344		352,135
ばいじん		144,437	1,117	143,320	132,307		11,014		133,424
上記以外の種類		50,365	3,928	46,437	22,443	16,549	7,435	9	26,371

注)本表は、中間処理を経た場合でも発生時の種類のまま(種類別無変換の例:木くず→焼却→木くず)で集計している。

3. 業種別の発生及び処理・処分状況（令和2年度（2020年度））

（単位：トン/年）

業種	区分	発生量	有償物量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他量 (保管量)	資源化量
合計		2,046,194	154,706	1,891,488	967,090	859,349	64,382	668	1,121,796
建設業		462,035	8,802	453,234	401,342	19,521	32,370		410,143
製造業		617,633	141,772	475,861	356,112	115,376	3,868	504	497,885
電気・水道業		922,187	2,060	920,127	191,553	708,183	20,391	0	193,613
情報通信		1,995	166	1,830	1,687	38	104		1,853
卸・小売業		16,172	1,672	14,500	7,634	2,497	4,362	6	9,306
サービス業		3,253	124	3,129	2,411	502	208	8	2,535
その他の業種		22,918	110	22,808	6,350	13,232	3,077	149	6,460

表3-1 種類別一発生及び処理・処分状況（令和2年度（2020年度））

区 分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				自己未処理後の処理内訳				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量											
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(G)	(6)	(61)	(62)	(63)	(64)		(65)	(I)	(E2+62)									
																								自己中間処理量 (D)	排出量 (E)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)		(自己未処理の処理内訳)		(処理先地域の内訳)	
																											自己中間処理量 (D)	排出量 (E)	自己中間処理後量 (E)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)
合 計	2,046,194	154,706	1,891,488	963,469	144,273	62,259	2	81,490	159	363	928,019	200,527	20,208	700,601	6,378	305	809,506	20,210	20,210													
燃え殻	4,537	74	4,463	13	1	1		1			4,450		4,427	23			4,451	4,427	4,427													
汚泥	887,857	4,804	882,853	830,217	63,678	4,356	2	59,304	9	7	52,636		4,938	47,415	282	2	111,958	4,940	4,940													
有機性汚泥	772,518	32	772,486	761,540	56,002		0	55,990	9	2	10,946			10,871	74		66,947	0	0													
無機性汚泥	115,139	4,772	110,367	68,676	7,676	4,356	2	3,313	5	5	41,691		4,938	36,543	207	2	45,010	4,940	4,940													
廃油	13,581	501	13,081	15	13			3	10		13,066			13,036	22	8	13,079															
一般廃油	13,133	501	12,632								12,632			12,619	5	8	12,632															
廃溶剤	38		38								38			38			38															
固形油	240		240								240			240			240															
油でい	86		86	10	10				10		76			58	17		86															
油付着物類	85		85	5	3			3			81			81		0	83															
廃酸	792	55	737								737			735	2		737															
廃アルカリ	276		276	92	43			43			184			131	54		228															
廃プラスチック類	26,740	436	26,304	596	588	7		557	18	5	25,708			24,290	1,273	146	26,289															
廃プラスチック	25,197	436	24,761	596	588	7		557	18	5	24,165			22,769	1,256	140	24,746															
廃タイヤ	1,543		1,543								1,543			1,521	16	6	1,543															
紙くず	4,130	2,886	1,244	190	189	10		176	3		1,055			1,039	16		1,234															
木くず	28,443	109	28,334	1,193	1,176	398		771	7		27,141			26,698	442	1	27,919															
繊維くず	124		124	1	0			0			123			123			123															
動植物性残さ	389,305	127,517	261,787	49,669	3,715	2,412		1,303			212,119	200,527	44	11,436	111		12,895	44	44													
動物系固形不要物	1,253		1,253								1,253			1,253			1,253															
ゴムくず	242		242								242			238	4		242															
金属くず	13,957	3,819	10,138	790	496			496			9,348			9,164	183	1	9,844															
ガラス・プラスチック・陶磁器くず	107,884	3,619	104,066	28,633	27,005	19,949		6,599	106	351	75,433			74,309	979	145	82,489															
紙さい	22,440	128	22,312	19,081	19,081						3,231			3,231			3,231															
がれき類	370,628	9,155	361,473	30,416	27,267	16,045		11,222			331,057		3	329,650	1,404		342,279	3	3													
コンクリート片	271,529	1	271,528	17,319	17,319	6,976		10,343			254,209			253,216	993		264,553															
廃アスファルト	82,383	9,154	73,228	12,992	9,843	9,069		774			60,236			60,035	201		61,010															
その他	16,716		16,716	105	105			105			16,612		3	16,399	209		16,716	3	3													
ばいじん	144,437	1,117	143,320								143,320		10,795	132,521	4		143,320	10,795	10,795													
動物のふん尿																																
動物の死体	1,842		1,842								1,842			1,842			1,842															
その他産業廃棄物	28,124	487	27,637	2,565	1,021	1		1,015	5		25,072			23,468	1,604	1	26,092															
感染性廃棄物	3,518		3,518	89	81			81			3,429			3,422	7		3,509															
混合物等	24,606	487	24,119	2,476	941	1		934	5		21,644			20,046	1,597	1	22,583															

(その1)

(単位：t/年)

(その2)

(単位：t/年)

区分	委託処理量										委託中間処理量										委託中間処理後量				再生利用量				最終処分量				その他量		資源化量
	委託直接最終処分量					(処理先地域の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)					(委託処理後の処理内訳)					(R)	(O)	処理主体の内訳		(J)	(S)				
	(K)	(O-L)	(0)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(E+G+H)	(0)	処理主体の内訳		(E5-G5)	(R)	(O)	(1)	(2)	(3)										
				業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量			事業者	自治体							事業者	自治体								
合計	788,628	6,537	6,172	365	5,971	566	782,091	780,779	1,312	11,119	741,939	704,304	37,635	967,090	64,382	20,210	438	43,734	668	1,121,796															
燃え殻	24						24	24		6	24	8	15	8	4,443	4,427	15																		
汚泥	107,009	291			259	32	106,718	106,718		2,563	85,665	84,328	1,337	88,684	6,568	4,940	1,628																		
有機性汚泥	66,945	84			84		66,862	66,862		45	61,694	61,303	391	61,303	474	0	474																		
無機性汚泥	40,064	207			175	32	39,856	39,856		2,517	23,971	23,025	946	27,381	6,093	4,940	1,154																		
廃油	13,071	32			14	18	13,038	13,033	5	12,945	94	3,995	3,873	122	154		0	154																	
一船廃油	12,624	5			4	1	12,619	12,617	3	12,551	69	3,724	3,606	118	123		123																		
廃溶剤	38						38	38		25	2	1	2	1	2		2																		
固形油	240						240	240		240	236	236		236																					
油でい	86	27			10	17	58	58		56	2	23	0	28			28																		
油付着物類	83						83	81	3	73	10	8	2	8	2		0	2																	
廃酸	737	2			2	0	735	735		731	4	695	2	693	4		4																		
廃アルカリ	228	54			50	3	174	174		144	30	5	25	5	79		79																		
廃プラスチック類	26,138	1,291	928	363	1,291		24,847	24,748	99	24,590	257	23,010	11,425	11,432	12,876		373	12,503	151	11,868															
廃プラスチック	24,601	1,275	912	363	1,275		23,326	23,227	99	23,070	257	21,635	10,139	11,496	12,771		373	12,398	145	10,582															
廃タイヤ	1,537	16			16		1,521	1,521		1,520	1	1,375	1,286	89	1,286	105		105	6	1,286															
紙くず	1,234	19			19		1,215	1,215		1,215	0	902	860	42	870	61		61		3,755															
木くず	27,918	449	449		449		27,468	27,359	110	27,468		25,344	24,645	699	1,148		10	1,139	1	25,152															
繊維くず	123						123	122	1	123		110	75	35	35		0	35		75															
動植物性残さ	12,851	111			111		12,739	12,736	3	12,739		12,555	12,375	181	215,314	336	44	0	292	342,831															
動物系固形不燃物	1,253						1,253	1,253		1,253		1,253	1,253		1,253					1,253															
ゴムくず	242	4			4		238	233	5	238		54	29	29			1	29		29															
金属くず	9,843	183			183		9,660	9,617	43	9,637	24	9,660	8,492	1,168	1,351		10	1,341	1	12,311															
ガラス・セラミック・陶磁器くず	81,992	1,084	1,084		1,084	0	80,908	80,890	19	80,675	233	80,908	78,142	2,767	98,090	3,851	18	3,833	497	101,709															
紙くず	3,231						3,231	3,231		3,224	7	3,231	3,216	15	22,297	15		15		22,425															
がれき類	342,276	1,404	1,404		1,298	105	340,872	340,872		338,245	2,627	340,872	326,935	13,937	342,980	15,344	3	15,341		352,135															
コンクリート片	264,553	993			978	16	263,560	263,560		261,358	2,201	263,560	263,058	502	270,034	1,495		1,495		270,034															
廃アスファルト	61,010	201			201		60,809	60,809		60,406	403	60,809	60,782	27	69,851	228		228		79,005															
その他	16,713	209			119	90	16,504	16,504		16,481	23	16,504	3,095	13,409	13,621	3		13,618		3,095															
ばいじん	132,525	4			4		132,521	132,521		132,521		132,521	132,307	215	132,307	11,014	10,795	219		133,424															
動物のふん尿																																			
動物の死体	1,842						1,842	815	1,027	1,842		42	18	18	24		23	1		18															
その他産業廃棄物	26,091	1,609	1,607	2	1,206	403	24,482	24,481	1	19,207	5,275	21,066	15,626	5,440	7,049		3	7,046	1	16,114															
感染性廃棄物	3,509	7			7	0	3,502	3,502		3,110	392	490	129	360	368			368		129															
混合廃棄物等	22,582	1,602	1,600	2	1,199	403	20,980	20,979	1	16,097	4,883	20,576	15,497	5,079	6,681		3	6,678	1	15,985															

表 3-3 業種別一発生及び処理・処分状況（令和2年度（2020年度））

業種	（その1）										（単位：ト/年）										
	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理後量		自己中間処理量		自己処理後量		自己処理量		自己最終処分量		自己最終処分量		自己最終処分量		
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	
	(B+C)	(B)	(D+E)	(D)	(E)	(F+G)	(F)	(G)	(H+I)	(H)	(J+K)	(J)	(K)	(L+M)	(L)	(M)	(N+O)	(N)	(O)	(P+Q)	(P)
合計	2,046,194	154,706	1,891,488	963,469	144,273	62,259	2	81,490	159	363	928,019	200,527	20,208	700,601	6,378	305	809,506	20,210	20,210		
農業・林業	2,939		2,939	0	0	0	0	0			2,939			2,437	363	2,939	0	0			
漁業	92		92	0	0	0	0	0			92			6	2	92	0	0			
鉱業	131		131	125	125	125					125			6		131	6	6			
建設業	462,035	8,802	453,234	32,990	29,513	16,344					420,243		3	416,911	3,329	433,413	3	3			
製造業	617,633	141,772	475,861	166,144	57,846	42,464					309,717	200,527	584	107,745	712	148	124,571	584	584		
食品	411,909	127,702	284,207	76,296	2,786	1,014					207,911	200,527		7,359	25	9,155					
飲料・調味料	41,384	1,329	40,055	29,820	2,541	1,398					10,235		44	9,940	251	11,379	44	44			
繊維	6		6	0	0	0					6			6		6					
木材	123	92	31								31			31		31					
家具	473	29	444	1	1	0					443			429	14	443					
パルプ・紙	9,909	2,859	7,049	6,777	3,969						272			270	2	4,241					
印刷	127	27	100	15	13	10					86			78	7	89					
化学	2,442	55	2,387	2,205	673	1					182			181	1	853					
石油・石炭																					
プラスチック	1,153	322	832	17	17	7					5			776	39	825					
ゴム																					
皮革																					
窯業・土石	110,988	7,311	103,677	31,516	28,722	20,953					72,161		540	71,451	23	147	79,930	540	540		
鉄鋼	28,840	331	28,508	19,081	19,081	19,081					9,427			9,427		9,427					
非鉄金属																					
金属	7,887	1,059	6,828	415	43						6,413			6,372	41	6,456					
はん用機器	6	2	4								4			4		4					
生産用機器	702	380	323								323			26	296	323					
業務用機器	2	1	1								1			1		1					
電子部品																					
電気機器	1,187	33	1,153								1,153			1,153		1,153					
情報通信機器																					
輸送用機器																					
その他	495	241	255								255			241	14	255					
電気・水道業	922,187	2,060	920,127	763,206	56,079	3,322					52,757			137,059	242	0	209,678	19,620	19,620		
電気業	155,027	142	154,885	25	5						154,860			135,009	231	0	154,865	19,620	19,620		
ガス業	32		32								32			32		32					
下水道業	67,603	1,918	65,685	64,969	5,583	3,322					716			716		2,976					
下水道業	699,524		699,524	698,212	50,491						1,313			1,302	11	51,804					
運輸・郵便業	2,343	20	2,323	5	2						2,318			2,264	52	2,320					
卸・小売業	16,172	1,672	14,500	554	514						13,945			13,190	754	14,459					
宿泊・飲食サービス業	9,232	36	9,196	27	25	4					9,169			9,094	76	9,191					
医療・福祉	4,831		4,831	101	92						4,730			4,702	28	4,822					
複合サービス事業	13	7	6								6			6		6					
サービス業	3,533	212	3,129	2	0						3,127			3,057	62	3,127					
その他の業種 ※	5,333	212	5,121	315	76						4,806			4,041	760	4,883					

注）※欄の「その他の業種」は、情報通信業、金融・保険業、不動産・物品賃貸業、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、公務の会計値である。

資料4. 産業廃棄物に関する排出事業者及び処理業者への調査

沖縄県内に所在する多量排出事業者等排出事業者 200 件、沖縄県内に所在する全ての産業廃棄物処理業者 159 件に対して産業廃棄物に関する意識調査を実施した。それぞれの回答（有効）の内訳は、排出事業者が 160 件（回答率 80.0% = 160/200）、処理業者 97 件（廃止 2 件、許可期限切れ 1 件除く。回答率 62.2% = 97/156）となっている。

1. 排出事業者

問1 有償物の発生、廃棄物の自社処分・保管等について

(1) 貴事業所では、令和2年度に事業活動に伴って生じた物で、他社に有償で売却した物、あるいは自社の原料や燃料等に利用した物が発生しましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。

また、発生した場合は、その種類、おおよその量、売却先（県名のみ。海外の場合は国名）、利用用途（わかる範囲で結構です）をご記入ください（①～③の3つまで）

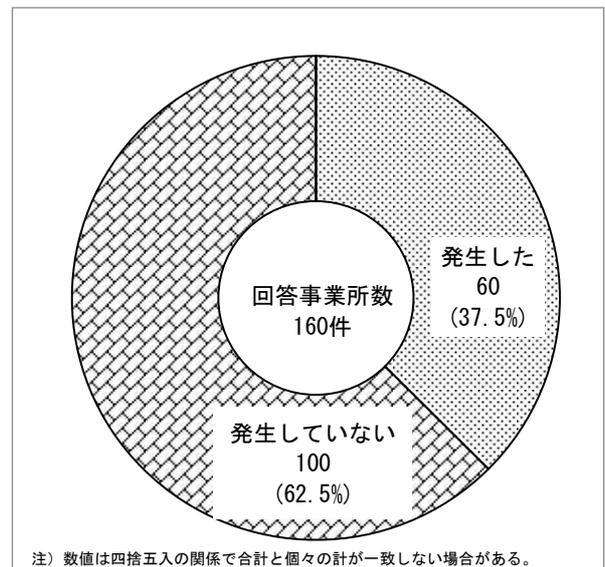
①有償物

事業活動に伴って有償物が発生したと回答のあった事業所は 37.5%（60 件）となっている。

種類別にみると、汚泥、金属くず、がれき類等が多くなっている。

また、主な売却先の地域は沖縄県内となっているが、動植物性残さの一部は県外へ売却されているものもある。

主な種類の利用用途では、汚泥は「園芸用土、セメント原料等」、金属くずは「リサイクル」、がれき類は「土留め、擁壁、車両止等」等となっている。



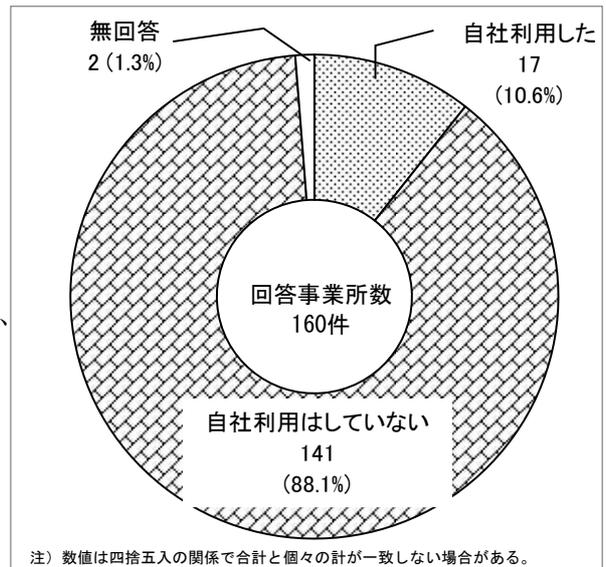
種類	有償物量(t)	売却先地域 (都道府県)	主な利用用途
汚泥	205,817	沖縄県	園芸用土、セメント原料等
金属くず	47,564	沖縄県	リサイクル
がれき類	28,237	沖縄県	土留め、擁壁、車両止等
廃電気機械器具	7,622	沖縄県	非鉄金属等原材料
動植物性残さ	7,490	沖縄県、愛知県、東京都	飼料、肥料等
燃え殻	2,714	沖縄県	土壌改良
ばいじん	1,394	沖縄県	有効利用、研究
その他	2,014		

② 自社利用した物

自社利用の副産物があると回答のあった事業所は 10.6% (17 件) となっている。

種類別で見ると、動植物性残さが最も多くなっている。

また、主な利用用途では、動植物性残さは「ボイラー燃料、肥料、清涼飲料水の原料」、汚泥は「堆肥製造、練り混ぜ水」、ガラス・コンクリート及び陶磁器くずは「ブロック製作等」等となっている。

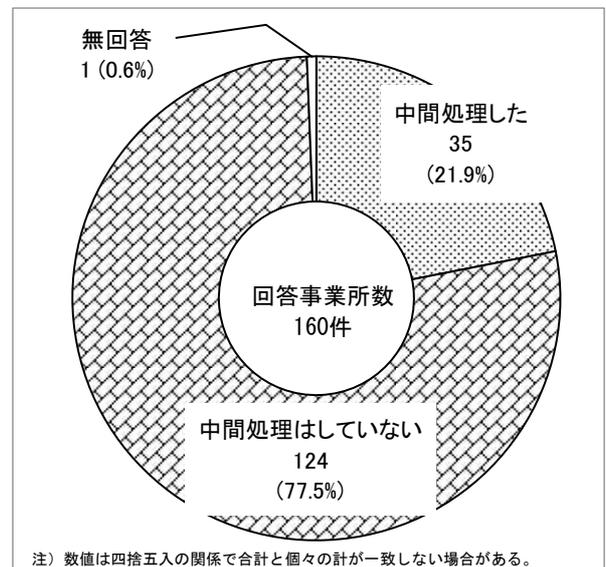


種類	自社利用した量 (t)	主な利用用途
動植物性残さ	3,068,906	ボイラー燃料、肥料、清涼飲料水の原料
汚泥	9,430	堆肥製造、練り混ぜ水
ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	4,924	ブロック製作等
燃え殻	74	構内路盤材 (防草効果の確認試験)
廃電気機械器具	2	再利用
メタンガス	231.992Nm ³	自家発電機に供給

③ 自社中間処理した物

自社で中間処理したと回答のあった事業所は 21.9% (35 件) となっている。

種類別で見ると、汚泥が最も多く、動植物性残さ、ガラス・コンクリート及び陶磁器くず等が多くなっている。



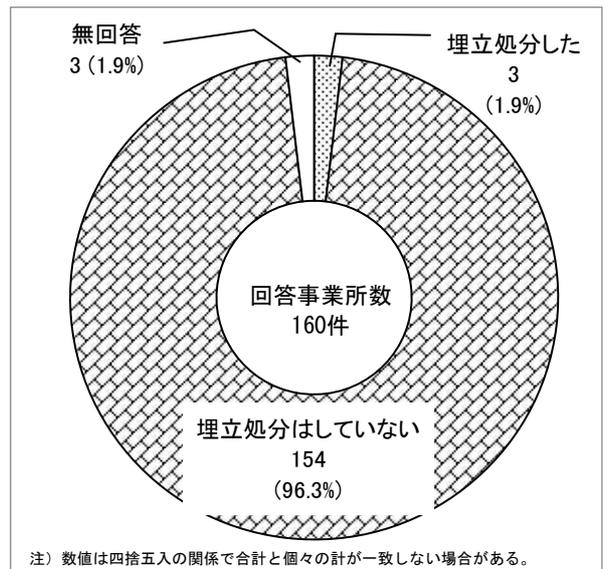
種類	自社中間処理した量 (t)
汚泥	135,031
動植物性残さ	3,834
ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	2,500
がれき類	283
感染性産業廃棄物	1.2
燃え殻	0.9

④ 自社埋立処分した物

自社埋立処分したと回答のあった事業所は1.9%（3件）となっている。

種類別で見ると、燃え殻、汚泥、ばいじんとなっている。

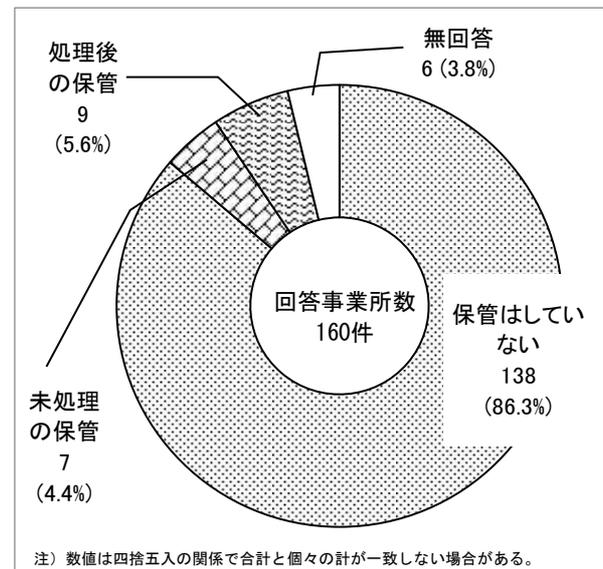
種類	自社埋立処分した量（t）
ばいじん	10,795
汚泥	4,431
燃え殻	4,427



⑤ 自社保管物

自社保管物があると回答のあった事業所は10.0%（16件）で、内訳は未処理保管は4.4%（7件）、処理後保管は5.6%（9件）となっている。

種類別で見ると、未処理保管は汚泥、がれき類等があり、処理後保管は使用済み自動車、蛍光灯がある。

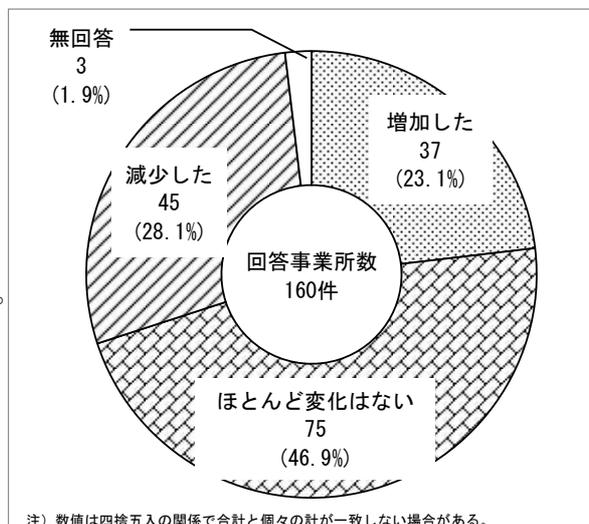


種類	自社未処理保管量（t）	自社処理後保管量（t）
汚泥	1,602	—
がれき類	1,425	—
ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	1,082	—
混合物	97	—
廃電池類	69	—
使用済み自動車	2	152
蛍光灯	1	1

問2 産業廃棄物の排出量について

貴事業所における令和2年度の産業廃棄物の排出量は、前年度（令和元年度）に比べて変化しましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。また、おおよその増減率、その理由等をお聞かせください。

令和2年度の産業廃棄物の排出量については、前年度と比べて「ほとんど変化はない」と回答した事業所が46.9%（75件）で最も多く、「減少した」が28.1%（45件）、「増加した」が23.1%（37件）と、減少したと回答した事業所の方が多くなっている。排出量の増減理由については、以下の表のとおりである。なお、令和2年度においては、新型コロナウイルスの影響がでている事業所もあった。



<増加の理由>（一部抜粋）

増加率	理由
180%	新型コロナウイルス感染症の流行及びその検査と治療の為。感染症医療廃棄物が極端に増加した為。
70%	解体現場増加による増加。
29%	さとうきびの生産量が増加した為。
8%	家電の受入が増加した為。

<減少の理由>（一部抜粋）

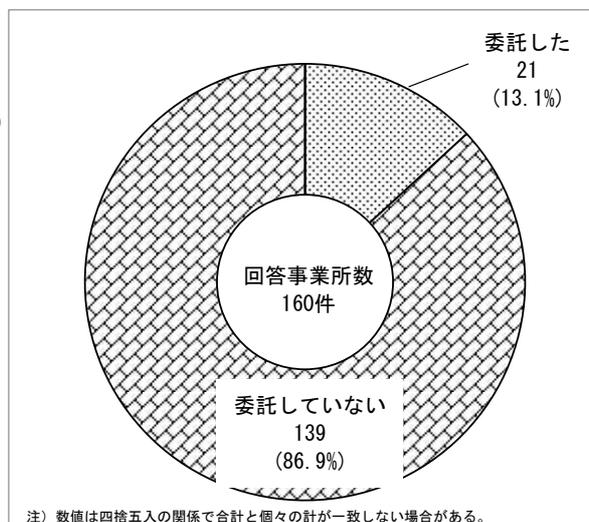
減少率	理由
85%	令和2年度に解体工事の受注が無かった為。
40%	大型工事減少につき、廃棄物の発生量が減少した為。
7%	水源取水割合の変化により令和2年度は前年度と比較して水質汚濁物質流入量が減少したため。
20%	生コンの出荷量が減少した為。
61%	コロナ禍で製造量が減少した為。

問3 産業廃棄物の県外処理について

(1) 貴事業所では、令和2年度に県外業者に中間処理を委託しましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。また、委託している場合は、主な種類、おおよその量、委託先（県名、業者名）について、ご記入ください。

産業廃棄物の中間処理について、県外業者に処理を「委託した」事業所は13.1%（21件）と約1割であり、約9割（139件、86.9%）の事業所は県外業者への委託を行っていない。

県外業者への委託を行っている産業廃棄物の種類は、混合物、廃油等が多く、委託先でみると福岡県、鹿児島県、大阪府等への処理委託が多くなっている。

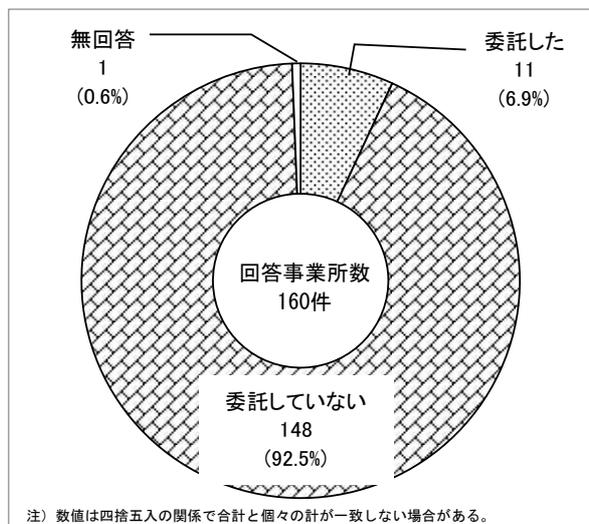


種類	委託量 (t)	県外委託先
混合物	10418.9	鹿児島県
廃油	5597.43	鹿児島県、福岡県、大阪府
汚泥	3616.35	鹿児島県、福岡県
廃石綿等	828.28	熊本県、大分県
廃酸	244	大阪府
感染性産業廃棄物	77.32	山口県、福岡県
その他	62.529	

(2) 貴事業所では、令和2年度に県外業者にリサイクル（再生利用）を委託しましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。また、委託している場合は、主な種類、おおよその量、主な委託先（県名、業者名）、利用用途（わかる範囲）について、ご記入ください。

リサイクル（再生利用）について、県外業者にリサイクルを「委託した」事業所は6.9%（11件）と僅かで、約9割（148件、92.5%）の事業所は県外業者への委託は行っていない。

県外業者にリサイクルを委託した産業廃棄物の種類は、紙くずが大部分を占めている。

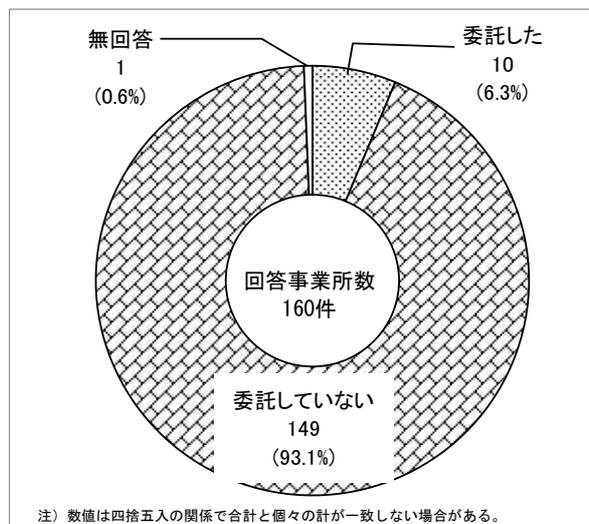


種類	委託量 (t)	主な利用用途	県外委託先
紙くず	3,827	セメント原料	福岡県
廃油	47	鉄鋼材への再利用	福岡県
廃プラスチック類	44	路盤材	山口県
金属くず	25	不明	埼玉県、山口県
汚泥	10	原材料、燃料	福岡県、大分県
ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	5	原材料	千葉県
その他	3		

(3) 貴事業所では、令和2年度に県外業者に埋立処分を委託しましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。また、委託している場合は、主な種類、おおよその量、委託先（県名、業者名）について、ご記入ください。

埋立処分について、県外業者に埋立処分を「委託した」事業所は6.3%（10件）と僅かで、約9割（149件、93.1%）の事業所は県外業者への委託は行っていない。

県外業者への委託を行っている産業廃棄物の種類は、ガラス・コンクリート及び陶磁器くずが最も多く、委託先は主に九州地区が多くなっている。

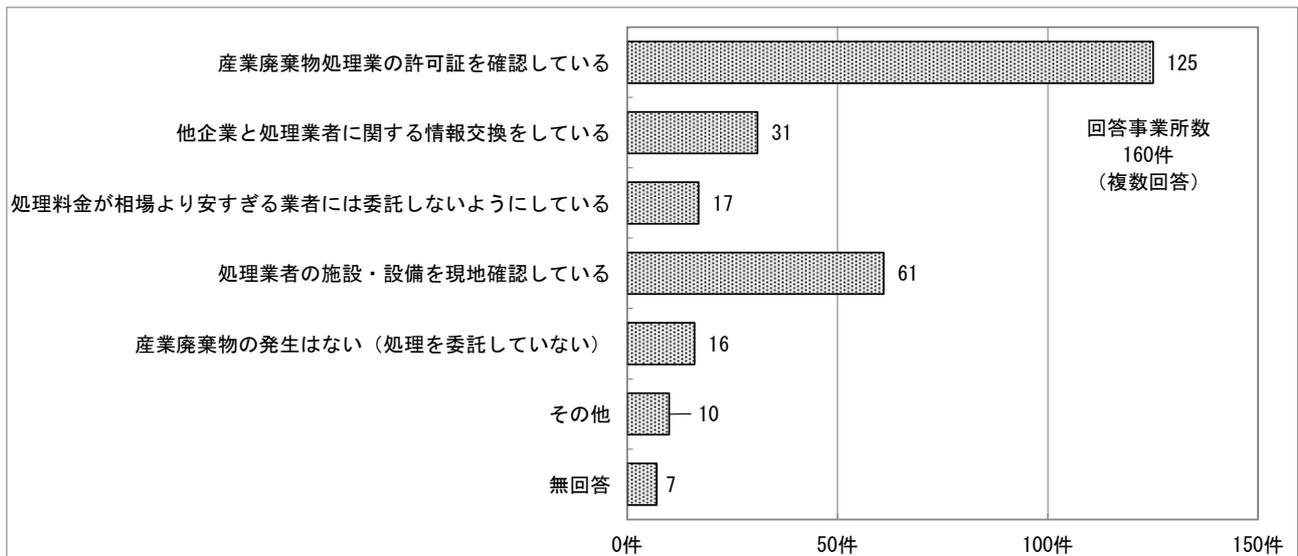


種類	委託量 (t)	県外委託先
ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	10,830	三重県
廃石綿等	5,876	三重県、熊本県
紙くず	1,561	宮崎県
混合物	65	宮崎県、鹿児島県
感染性産業廃棄物	36	大分県
汚泥	5	宮崎県、大阪府
蛍光灯	0.06	北海道

問 4 産業廃棄物の不適正処理防止への取り組みについて

近年、食品廃棄物の不正転売事件など、産業廃棄物の不適正処理が社会問題となっています。貴事業所では、搬出する産業廃棄物の不適正処理防止対策として、どのような取り組みを行っていますか。該当する番号に○をつけてください(複数回答可)。

搬出する産業廃棄物の不適正処理防止対策としては、「産業廃棄物処理業の許可証を確認している」(125件)が最も多く、次いで「処理業者の施設・設備を現地確認している」(61件)、「他企業と処理業者に関する情報交換をしている」(31件)となっている。



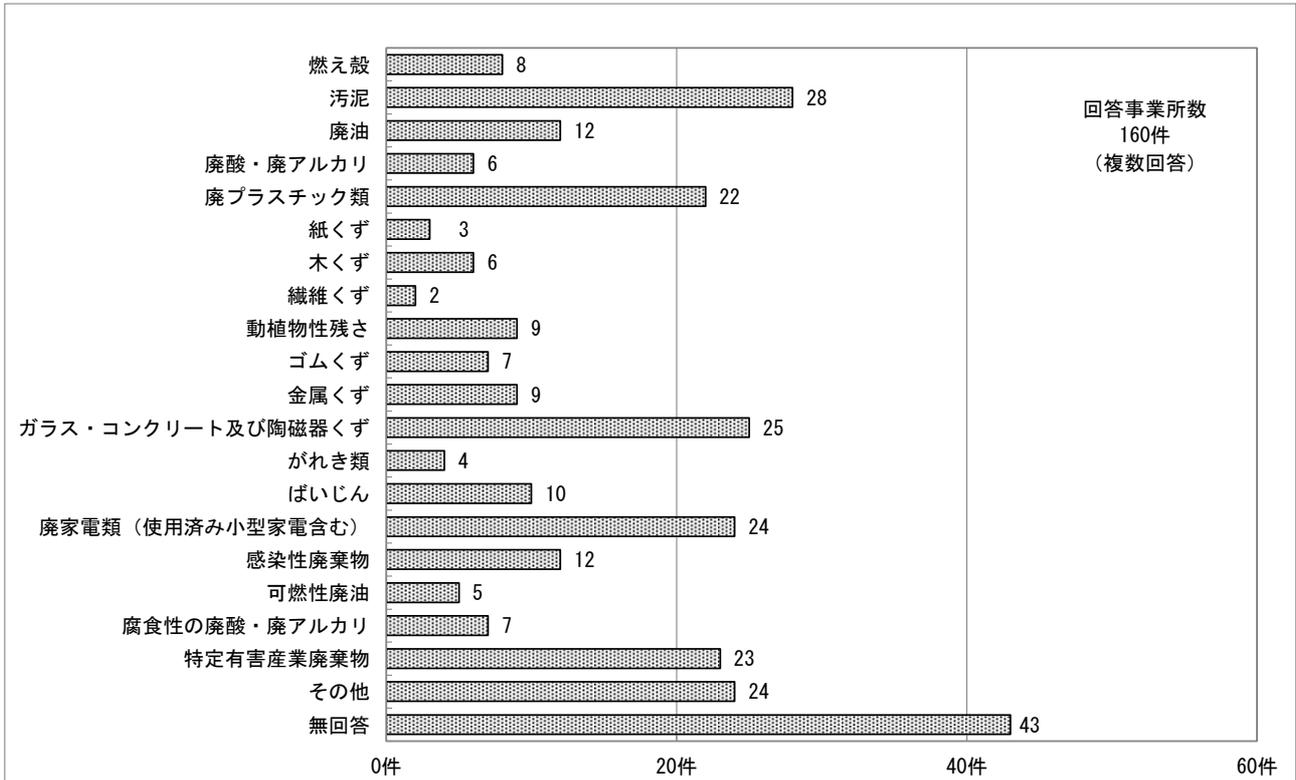
<その他>

グループ全体で信頼度の高い業者の情報を共有している。
取引先の実績等を総合的に判断して委託している。
JWNETに加入している優良業者である。
ラジオ及び広報誌での啓蒙活動。 ラジオ：月に1~2回、広報誌：2~3ヵ月に1回。
可能な限り、優良事業者へ委託するようにしている。
発生汚泥を肥料登録しており、農地還元している。
脱水汚泥を肥料登録し農地還元している為。
電子マニフェストを利用している。

問5 処理施設の不足している産業廃棄物の種類について

沖縄県では、公共関与による産業廃棄物最終処分場を整備しており、令和元年12月に「安和エコパーク」が供用開始しています。しかしながら、依然として県内において、処理施設が不足していると感じる産業廃棄物の種類はありますか。該当する番号に○をつけてください(複数回答可)。

県内において、不足していると感じる産業廃棄物の種類は、「汚泥」(28件)が最も多く、次いで「ガラス・コンクリート及び陶磁器くず」(25件)、「廃家電類(使用済み小型家電含む)」及び「その他」(24件)となっている。



<その他>

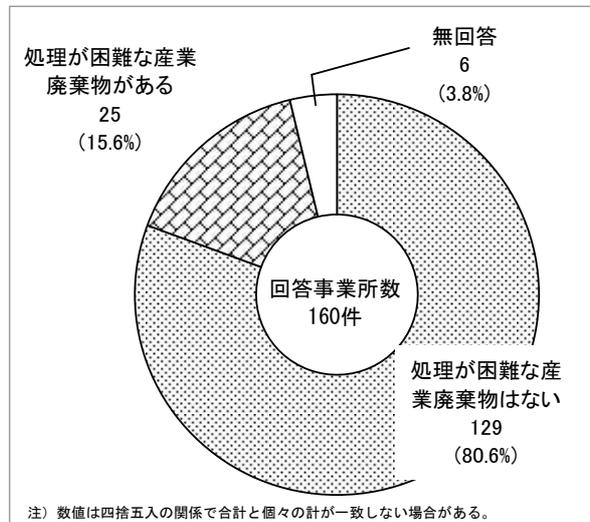
スラッジ
蛍光灯、パーテーション
廃石膏ボード、石線含有建材、水銀使用製品
鉛の蓄電池
残土
排石綿
蛍光灯、電球類
F R P
ボタン電池、コイン型電池、充電電池

問6 処理困難物について

貴事業所では、排出する産業廃棄物のうち、処理が困難な産業廃棄物がありますか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。

処理が困難な産業廃棄物について、「処理が困難な産業廃棄物はない」が80.6%（129件）、「処理が困難な産業廃棄物がある」が15.6%（25件）と、処理が困難な産業廃棄物はないと答えた事業所が多い。

処理が困難な産業廃棄物の種類、性状、その原因は、以下の表のとおりである。



< 処理が困難な産業廃棄物の種類、性状、その原因 > (一部抜粋)

濃硫酸、ドラム缶で5本程度の量であるが県内で処理出来る業社が存在しない。県外搬出となると海上輸送となり慎重な荷扱いが求められる。船会社との調整も困難になる事が予想される。

照明器具等に使用されている安定器が劣化により銘板が判別出来なく、PCBの含有状態が解らない。

コンクリート殻、最終処分の受け入れ先が少ない。

水銀化合物。RI廃棄物。特定の県外事業者でしか処分が行えない為。

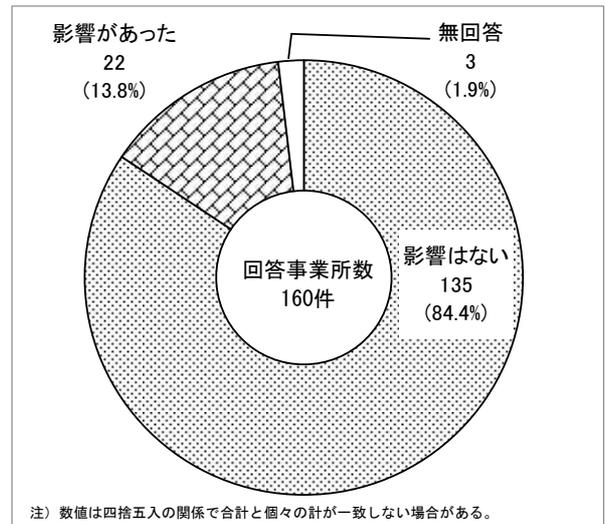
廃水銀、劇物(亜セレン酸、重クロム酸カリウム)引取り出来る県内業者が少ない。数社の県内業者が引取り可能であるが、県内では処理できず、処理金額が高額となる。

問7 産業廃棄物に対する新型コロナウイルス感染症の影響について

貴事業所では、令和2年度に排出した産業廃棄物のうち、その種類や数量について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。

新型コロナウイルス感染症の影響について、「影響はない」と回答した事業所が84.4%（135件）で、「影響があった」が13.8%（22件）となり、影響があった事業所が約1割であった。

新型コロナウイルス感染症の影響については、以下の表のとおりである。



<新型コロナウイルス感染症の影響>（一部抜粋）

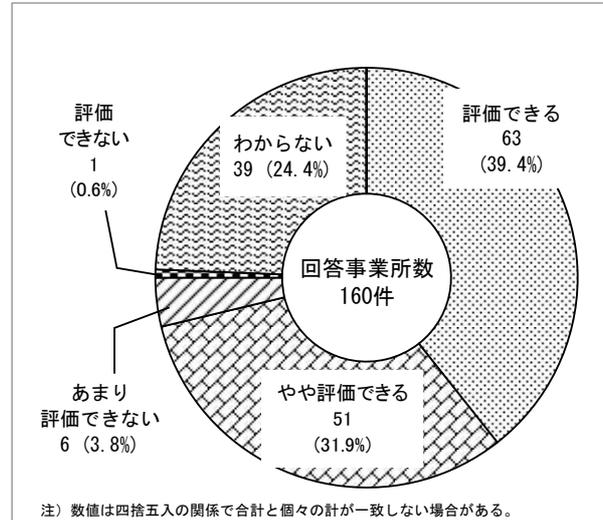
コロナ過で観光客の減少に伴い、下水に接続しているホテルの稼働が低下したことによるものと考えられる。
感染症対策の為。医療系、感染性廃棄物の数量が増加。
売上料が減少した為、製造量を少なくした。
製造量が減少したため、ガラスくず、廃プラ類が減少した。
生コンクリート出荷量の減少に伴う、戻りコンの減少。

問 8 産業廃棄物税について

(1) 沖縄県では、平成 18 年 4 月 1 日から「産業廃棄物税（法定外目的税）」を導入しています。その税収は、産業廃棄物の排出抑制、再生利用、適正処理を推進するため、①公共関与による産業廃棄物最終処分場の周辺環境整備、②事業者等による排出抑制・リサイクル等への支援、③処理業の優良化の促進、④不法投棄等防止対策等の施策に充てています。貴事業所では、これらの税収の使途・事業等について、どのようにお考えですか。該当する番号を 1 つ選び、○をつけてください。

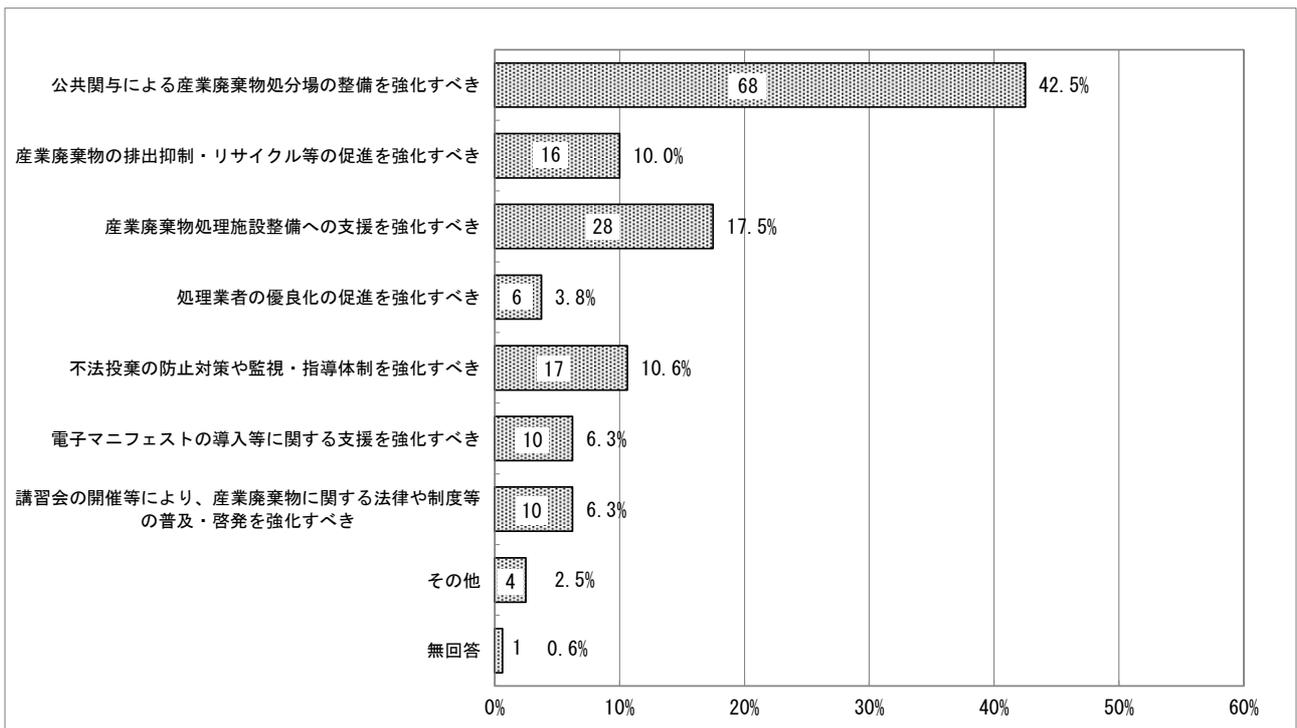
税収の使途・事業等については、「評価できる」が 39.4%（63 件）で、「やや評価できる」（51 件、31.9%）を合わせると約 7 割（71.3%）を占めている。

一方、「あまり評価できない」は 3.8%（6 件）、「評価できない」は 0.6%（1 件）で、「わからない」が 24.4%（39 件）となっている。



(2) 貴事業所が望む税収の使途・事業等について、該当する番号を 1 つ選び、○をつけてください。

排出事業者が望む税収の使途・事業等については、「公共関与による産業廃棄物処分場の整備を強化すべき」（68 件、42.5%）が最も多く、次いで、「産業廃棄物処理施設整備への支援を強化すべき」（28 件、17.5%）、「不法投棄の防止対策や監視・指導體制を強化すべき」（17 件、10.6%）等の意見が多くなっている。



問 9 その他

産業廃棄物の処理等に関する課題・問題点、県に対する要望等、ご自由にご記入ください。

産業廃棄物の処理に関する課題や問題点、県への要望は以下のとおりであり、県内の産業廃棄物処理施設の不足に伴い、新たな施設の整備を望む意見が多い。また、離島における処理体制についても整備を望む意見がある。

産業廃棄物処理等に関する課題・問題点・要望等
宮古、石垣など沖縄本島以外の処理施設へ支援頂き、リサイクル率のUP(最終処分を少なくする)を図って頂きたい。
中南部管内に最終処分場の整備をして欲しい。
離島の格差是正の観点から、離島から沖縄本島内所在産業廃棄物処理業者に産業廃棄物の運搬処理を委託する際に係る費用の補助をお願いいたします。
時折、木材、パレット等の処分を受け入れて頂けない場合があり大変困る。又、鉛蓄電池のように、ごくまれにしか出てこない廃棄物の処分先を見つけるのが、とても大変で対応もあいまいである。是非、県による処分先の検索機関など作り、常に正確、明確、迅速に対応できるように整備して頂きたい。
産業廃棄物の許可申請に関する講習会、試験日程の沖縄県日程を増やして頂きたい。
産業廃棄物の排出抑制とリサイクル事業者の増大に向けた施策。 電子マニフェストによる管理体制の統一化。
住宅の一般廃棄物と同じように、県や市町村で処理業者を決めて定期的に回収して処分してもらう流れに変えて欲しい。
県内の広大な敷地を持っている事業者に対して、産廃処分場建設を後押しする等の対応を進めて頂きたい。県外でしか処分出来ない産業廃棄物について、県内で処分できる設備を持つ事業者には積極的に処理許可を与える等の対応を進めて頂きたい。
離島(例 石垣島、宮古島他)等の電子マニフェストの導入等に関する支援。 離島での産業廃棄物処分場の整備強化。(沖縄本島より処分費が5, 6倍と思われる) 処理業者の優良化の促進を強化すべき。不法投棄の防止対策や監視、指導体制を強化すべき。
汚泥系の脱水を行わないと最終処分場へ搬入できない為、手作業による作業量が増加している。処理費の高騰もあり、県による広域的な処理施設を完備して欲しい。

2. 処理業者

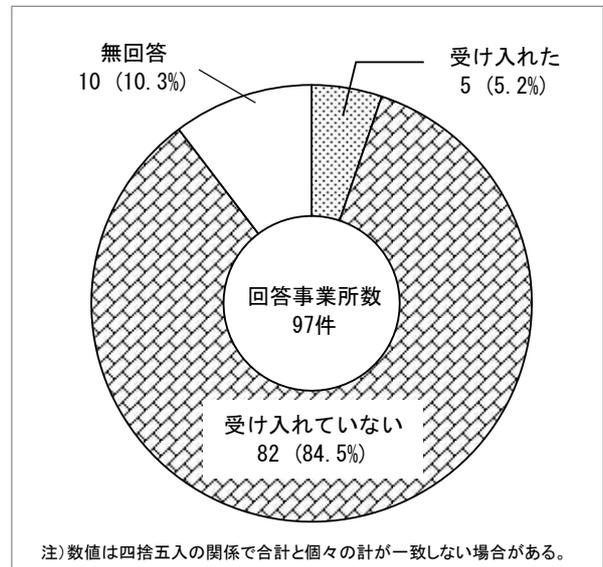
問1 米軍廃棄物の受入について

貴事業所では、令和2年度に米軍基地からの廃棄物等（①有価物・有償物、②産業廃棄物、③一般廃棄物のいずれか）を受け入れましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。なお、受け入れた場合は、年間の受入総量とそのうち上位3件の排出場所（基地名）、年間の受入量、主な種類、資源化用途、処理方法等を記入してください。

①有価物・有償物について

米軍基地から有価物・有償物を「受け入れた」と回答した事業所は5.2%（5件）となっている。

回答のあった事業所について、排出場所（基地名）、年間受入量、主な種類等をまとめると、以下のとおりである。

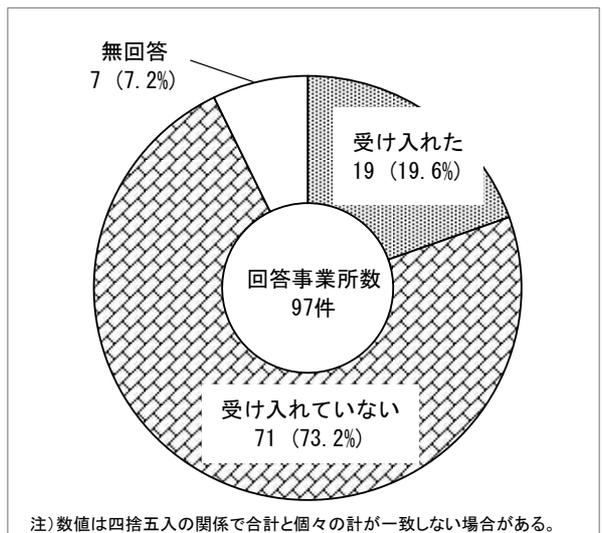


排出場所(基地名)	年間受入量 (t)	主な種類	主な資源化用途
キャンプ・フォスター	1,078	使用済み自動車	スクラップ
在沖海兵隊基地	844	廃プラスチック類、金属くず	リサイクル
嘉手納飛行場	678	廃プラスチック類、金属くず	リサイクル

②産業廃棄物について

米軍基地から産業廃棄物を「受け入れた」と回答した事業所は19.6%（19件）となっている。

回答のあった事業所について、排出場所（基地名）、受入量、主な種類等をまとめると、以下(次頁)のとおりである。

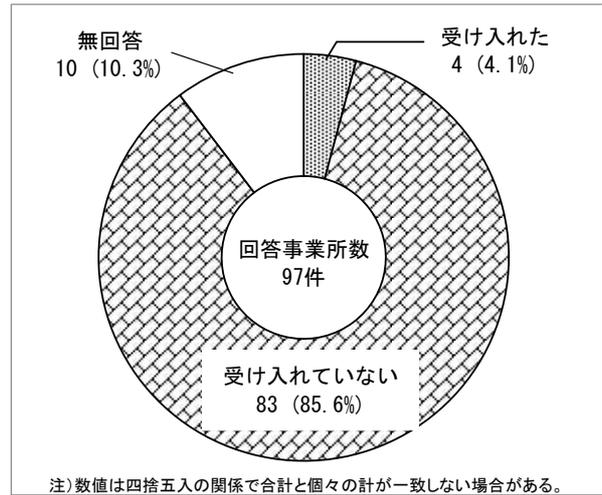


排出場所(基地名)	年間受入量 (t)	主な種類	主な処理方法
嘉手納飛行場	14,620	汚泥	固液分離
		ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	破碎、選別
		がれき類	破碎
		混合物	破碎、選別
		蛍光灯	破碎、研磨、洗浄、固化
		特定有害汚泥	脱水、造粒固化
キャンプ・キンザー	5,904	ゴムくず	破碎
		ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	破碎
		がれき類	破碎
		木くず	破碎
キャンプ・ハンセン	2,302	汚泥	焼却、堆肥化
		ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	破碎
		木くず	破碎
キャンプ・シュワブ	1,835	汚泥	焼却、堆肥化
		ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	破碎、選別
		木くず	破碎
		混合物	選別
キャンプ・フォスター	1,067	汚泥	焼却
		ゴムくず	破碎
		がれき類	破碎
キャンプ・コートニー	240	汚泥	堆肥化
		ゴムくず	破碎
		ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	破碎、再生路盤材
		混合物	破碎
天願通信所	198	特定有害汚泥	脱水、造粒固化
キャンプ桑江	194	特定有害汚泥	脱水、造粒固化
那覇港湾施設	177	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	破碎
普天間飛行場	123	木くず	破碎
キャンプ・シールズ	115	汚泥	固液分離
		混合物	破碎分別、選別
ホワイト・ビーチ地区	87	汚泥	固液分離
		特定有害汚泥	脱水、造粒固化
トリイ通信施設	86	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	破碎、選別
		感染性産業廃棄物	脱水、造粒固化
キャンプ瑞慶覧	57	木くず	破碎
在沖米海兵隊基地司令部	8	蛍光灯	破碎、研磨、洗浄、固化
那覇海軍航空施設	6	感染性産業廃棄物	脱水、造粒固化

③一般廃棄物について

米軍基地から一般廃棄物を「受け入れた」と回答した事業所は4.1%（4件）となっている。

回答のあった事業所について、排出場所（基地名）、受入量、主な種類等をまとめると、以下のとおりである。



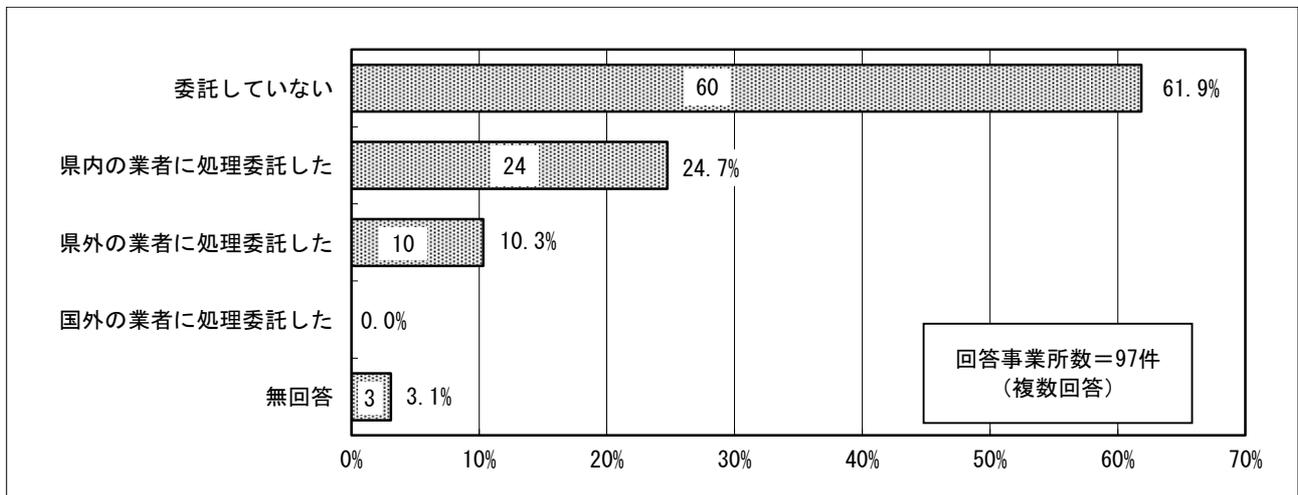
排出場所(基地名)	年間受入量 (t)	主な種類	主な処理方法
嘉手納飛行場	8,248	混合物	焼却
キャンプ・フォスター	4,347	混合物	焼却、リサイクル
キャンプ・ハンセン	2,543	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	破碎
		木くず	破碎
		混合物	焼却、リサイクル
キャンプ・キンザー	2,196	混合物	焼却、リサイクル

問 2 中間処理残さ物の処分について

(1) 貴事業所では、令和2年度に自社中間処理後の残さ物を県内・県外業者または国外業者に処理委託しましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。また、委託した場合は、主な種類、おおよその量、委託先（都道府県名（国名）、業者名）など委託内容について、ご記入ください（主な種類2つまで）。

中間処理後の残さ物の処分については、「委託していない」（60件、61.9%）が最も多く、次いで、「県内の業者に処理委託した」が24.7%（24件）、「県外の業者に処理委託した」が10.3%（10件）となっており、「国外の業者に処理委託した」と回答した事業所はゼロであった。

また、県内及び県外委託の内容（種類、委託量、委託先等）については以下のとおりである。



＜県内委託の状況＞

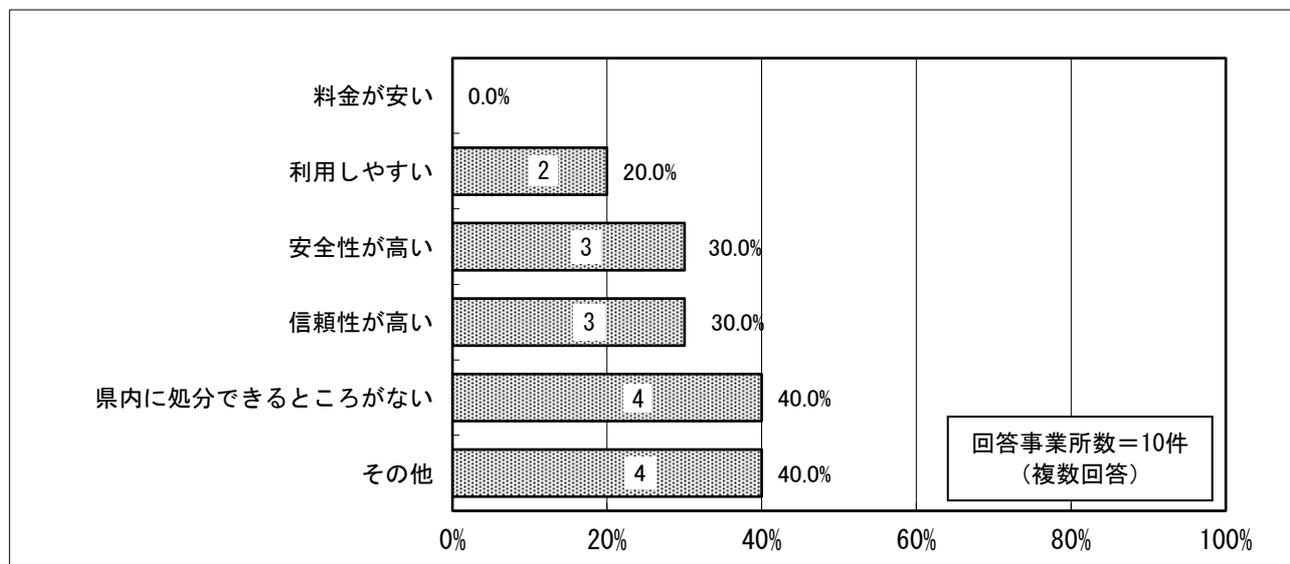
委託の内容	主な種類	年間委託量（t）
中間処理	混合物	3,794
	木くず	429
	汚泥	335
	廃プラスチック類	166
	燃え殻	59
再生利用	木くず	6,405
	金属くず	2,690
	汚泥	750
	混合物	482
	廃プラスチック類	394
	廃油	334
	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	189
	燃え殻	98
	紙くず	32
埋立処分	混合物	2,436
	廃プラスチック類	1,602
	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	1,324
	汚泥	372
	ばいじん	220
	がれき類	6
	木くず	2

＜県外委託の状況＞

委託の内容	主な種類	年間委託量（t）	委託先
中間処理	混合物	1,192	鹿児島県
	木くず	630	熊本県
	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	420	福岡県
再生利用	混合物	150	北海道、山口県
	紙くず	132	福岡県
	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	50	北九州
埋立処分	管理型混合廃棄物	2,643	宮崎県、大分県
	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	270	宮崎県
	紙くず	122	宮崎県
	ばいじん	78	宮崎県
	廃プラスチック類	36	鹿児島県
	燃え殻	19	宮崎県

(2) 上記設問で「3 県外の業者に処理委託した」、「4 国外の業者に処理委託した」に○印をつけた方にお聞きします。それはどのような理由ですか。該当する番号に○印（2つまで）をつけてください。

県外委託の理由については、「県内に処分できるところがない」と「その他」（4件、40.0%）が最も多くなっている。次いで、「安全性が高い」と「信頼性が高い」（3件、30.0%）となっている。



<その他>

排出業者との契約内容(一次)により、処分先を決定しているのです。

運搬費の関係上、一度に多量の受け入れできる業者がない。

共英製鋼(株)の代理店。

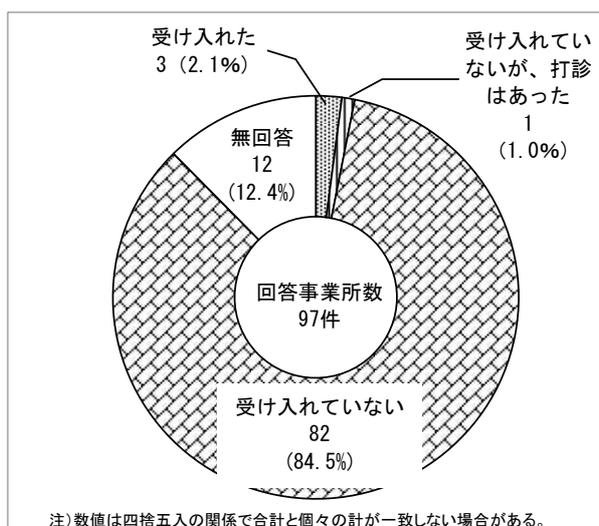
県内処理が出来ない時期があり、今後安定的に処理出来る処理場。

問3 県外から搬入のあった産業廃棄物について

貴事業所では、令和2年度に県外から処理・処分を目的とする産業廃棄物を受け入れましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。また、受け入れた場合は、その種類・量等をご記入ください。

県外からの産業廃棄物の受入については、「受け入れていない」(82件、84.5%)が最も多く、次いで「受け入れた」が2.1%(3件)、「受け入れていないが、打診はあった」が1.0%(1件)であった。

受入内容については、「廃プラスチック類」と「医療廃棄物」となっており、いずれも中間処理となっている。



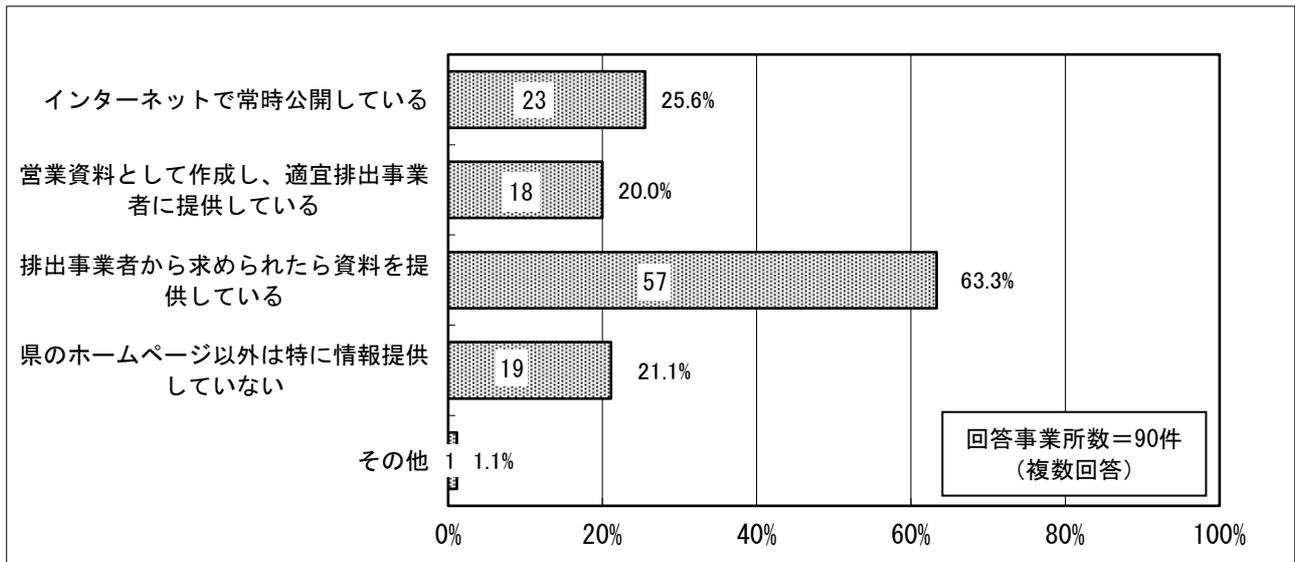
受入の内容	種類	重量 (t)	排出地
中間処理	廃プラスチック類	907.04	東京都
中間処理	医療廃棄物	30.98	鹿児島県

「受け入れていないが、打診はあった」の内容
死んだ牛の処理。

問4 排出事業者への情報提供について

貴事業所では、排出事業者に対して、施設の処理能力・処理方法や設備内容、処理やりサイクルの流れ、透明性等についてどのように情報提供していますか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください（複数回答）。

情報提供については、「排出事業者から求められたら資料を提供している」（57件、63.3%）が最も多くなっている。次いで、「インターネットで常時公開している」（23件、25.6%）、「インターネットで常時公開している」（23件、25.6%）、「県のホームページ以外は特に情報提供していない」（19件、21.1%）となっている。



その他
新聞広告・電話帳・年賀状・暑中見舞い。

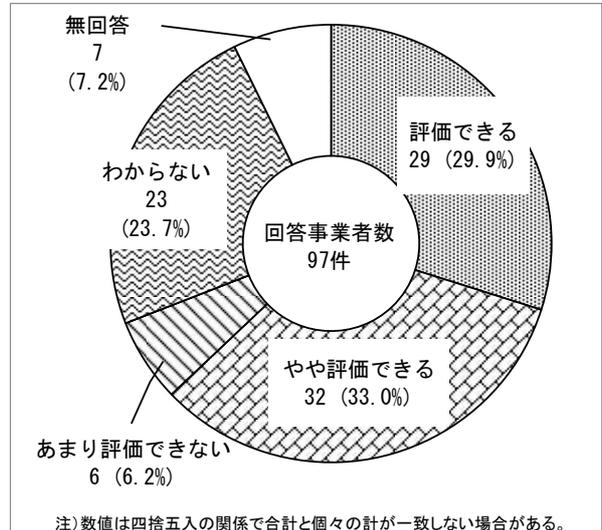
問5 産業廃棄物税導入による影響・効果について

(1) 沖縄県では、平成18年4月1日から「産業廃棄物税（法定外目的税）」を導入しています。その税収は、産業廃棄物の排出抑制、再生利用、適正処理を推進するため、① 公共関与による産業廃棄物最終処分場の周辺環境整備、② 事業者等による排出抑制・リサイクル等への支援、③ 処理業の優良化の促進、④ 不法投棄等防止対策等の施策に充てています。

貴事業所では、これらの税収の使途・事業等について、どのようにお考えですか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。

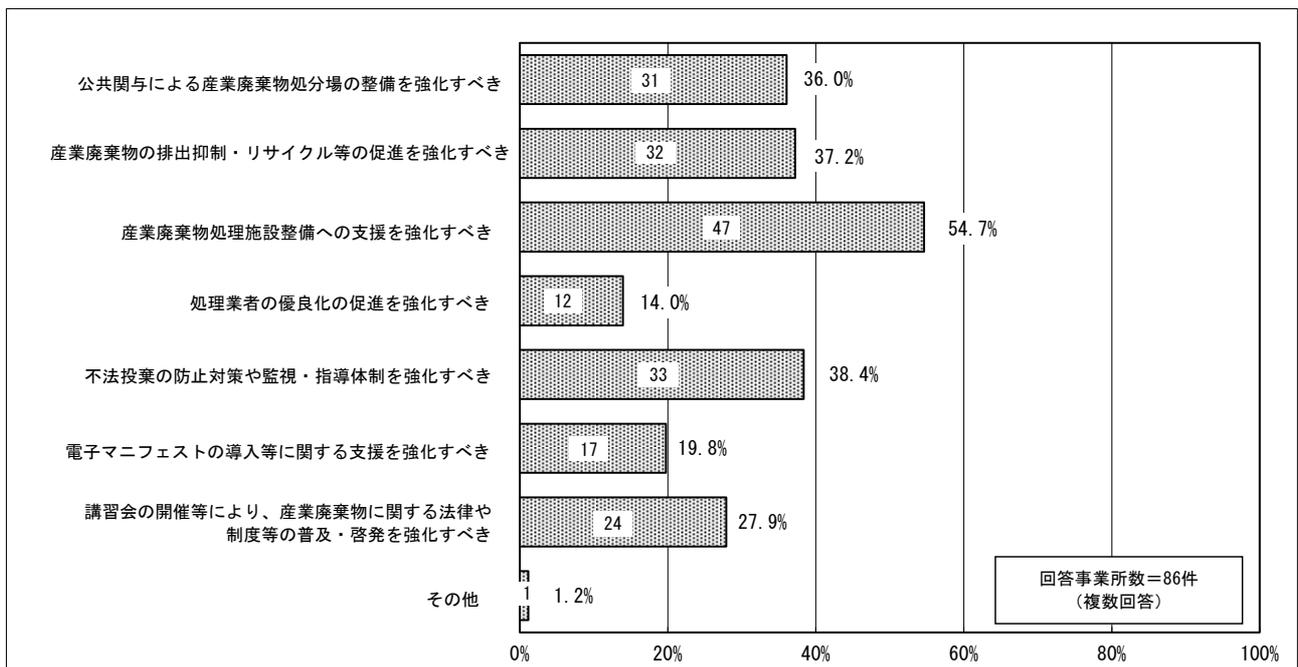
税収の使途・事業等については、「やや評価できる」が33.0% (32件)と最も多く、次いで、「評価できる」が29.9% (29件)となり、合わせて約6割を占めている。

一方、「あまり評価できない」は6.2% (6件)、「わからない」は23.7% (23件)となっている。



(2) 今後、税収の使途・事業として、どのような施策を充実すべきだとお考えですか。該当する番号に○をつけてください（複数回答可）。

処理業者が望む税収の使途・事業等については、「産業廃棄物処理施設整備への支援を強化すべき」(47件、54.7%)が最も多く、次いで、「不法投棄の防止対策や監視・指導体制を強化すべき」(33件、38.4%)、「産業廃棄物の排出抑制・リサイクル等の促進を強化すべき」(32件、37.2%)等の意見が多くなっている。



問 6 その他

産業廃棄物の処理等に関する課題・問題点、県に対する要望等、ご自由にお書き下さい。

産業廃棄物の処理に関する課題や問題点、県への要望は以下のとおりであり、施設整備への支援のほか、法制度について指導等を望む意見がある。

産業廃棄物処理等に関する課題・問題点・要望等
排出業者の産業廃棄物に対する認識が不足している部分が多い。排出業者の知識及び意識の向上のため、教育や指導を行って欲しい。 処理費の設計単価見直すべき。(特にコンクリート塊、アスファルト塊)全国的に見ても安価。処分業者への調査からの設定でなく、総合的に考えて金額を設定していただきたい。(処分業者の負担が大きい) リサイクルの面を考え、アスファルト廃材は優先的に合材工場に処分すること、法整備を検討していただきたい。各工場廃材不足気味で、リサイクル合材への出荷に影響が出てくると思われる。
車道の脇道にベビーシート、冷蔵庫、テレビ等が不法投棄されています。各市町村の協力で、全ての住民にチラシを配って欲しいと思います。市町村のネットに詳しく掲載されてはいますが、一般家庭ごみに注力して理解しているようです。チラシで知ってほしいのは、産業廃棄物の種類、各産廃毎の持ち込み先、会社名、連絡先等々が分かりやすく色分けされていて、尚、壁に貼り付けられるようにすると忘れられなくなり、守りやすくなるでしょう。我が家にも壁飾りのように貼りたいものです。
排出者への法律及び啓発を強化すべき。マニフェスト(契約書)について、知らない者が多すぎる。
沖縄県の主導で産業廃棄物の中間処理施設及び最終処分場の拡充を行って欲しい。
排出業者(特に小規模)が法律を知らない。知る機会が無いと思われる。電子マニフェストとは、排出業者が対応しないと使えない。しかし排出業者は、電子マニフェストを知らない。
弊社は、沖縄県リサイクル資材評価認定制度実施要領第13号1項の規定に基づく認定資材、商品名グラスサンド(認定2-25号 再生資源含有土砂代替材)を製造販売しております。主に道路工事等の路盤材で使用されています。県においては、公共事業等において、リサイクル製品の積極的な利用を促進してもらいたい。
県産、木炭製造の促進、奨励、木資源の更なる有効活用化。
排出業者への法律や制度の啓発を徹底してほしい。 排出する現場の見回り等。